



東北三地本の連携強化へ!

## 東北協議会結成!!

JR東労組東北協議会「結成総会」

### 結成スローガン

1. 盛岡・秋田・仙台地本の連携を強化し、東北の地からJR東労組1万人組織を創造するため、組織の強化・拡大を実現しよう!
1. 「変革2027」で進められる組織・職場の再編と仕事の融合施策に対し、鉄道の安全と組合員の命と健康を守り抜くため、あらゆるハラスメントを許さず、「安全・健康・ゆとり」が担保された職場を創造しよう!
1. 鉄道が果たす社会的役割を明確に地域連帯を創り出し、社会的分断と組織的分断を許さず、安易な地方ローカル線の廃止・見直しに反対し、東北の地に組合員の働く場とJR東労組の組織と運動を守り抜こう!

9月26日(火)、JRこぶし会館において「JR東労組東北協議会結成総会」が開催されました。昨年の本部大会以降、準備委員会を立ち上げ結成に向けて議論を重ねてきました。冒頭、佐々木準備委員長は現在の課題と方向性について問題提起を行ない、会社に対置できる組織体制と組織強化に向けた三地本の結束強化の必要性訴え、結成の意義を全体で確認しました。質疑では12名から発言があり、地方ローカル線を守るたてか、安全・職場課題、秋田県豪雨災害連帯の取り組み、会社の隠蔽体質を許さないたてか等、職場の現実と実践を共有し、JR東労組1万人組織を東北から創っていく事を確認しました。2023年度の役員体制は以下の通りです。

2023年度JR東労組東北協議会役員体制

幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	事務次長	事務次長	事務次長	副議長	副議長	議長
工藤克貴	石戸亨	佐藤豪	下山陽平	其田洋輔	木村洋	畠山翔	昆野彰夫	湯ノ目勝	泉祐樹	大村博行	佐々木克之
仙台	仙台	秋田	秋田	盛岡	盛岡	秋田	盛岡	仙台本部	秋田	盛岡	仙台本部



三地本の団結強化で「安全・健康・ゆとり」が担保された労働環境と安心して生活できる労働条件を創りだそう!!

## JR東労組東北協議会「結成宣言」

### 結成宣言<案>

JR東労組盛岡地本・秋田地本・仙台地本は本日、盛岡市「JRこぶし会館」において、3地本の連携強化を図り、JR東労組の1万人組織を創造するため「JR東労組東北協議会」を結成した。会社施策の組織再編により、東北本部への盛岡支社と秋田支社の業務の集約化が進められている。また同時に職場では「融合と連携」の名のもとに職場の統合と仕事の融合が進められ、組合員の労働環境が大きな変化を迎えている。組合員の「安全・健康・ゆとり」が担保された労働環境と安心して生活ができる労働条件を守るためには、私たちも会社に対して対置できる力を3地本の団結強化によって創り出していかなければならない。

現在、JR東日本の安全が危機的状況にある。6月16日には内房線において協力会社作業員が作業中に感電・受傷し、死亡する痛ましい事故が発生した。また、8月5日には東海道線・大船駅構内において電車と電化柱が衝突する命を奪いかねない重大事故が発生した。ほか、7月の「大崎駅構内の信号装置故障」や「尾久駅構内ケーブル火災」をはじめ、職場では多くの事象が発生している。そして、事象の発生だけにとどまらず、八戸運輸区では取扱い誤りを申告した社員に対して管理者は「大事にしないで良い」と言い放ち、また弘前統括センターでは管理者が添乗中にも関わらず、注意信号を速度オーバーしただけではなく、事象に真摯に向き合おうとしない管理者の姿勢も報告されている。

「安全は経営のトッププライオリティー」と言われるものの、鉄道事業の大効率化の中で安全は社員の注意力、社員管理によってつくるかのごとく「凡事徹底」が連呼され、ミスした社員には懲罰的日勤教育が行われている。また、それにとどまらず、本来指導する立場にある管理者の安全よりも自己保身を優先、隠ぺい体質の現実に至っては、もはやJR東日本の現実は福知山線脱線事故当時のJR西日本の現実を超えていると言っても過言ではない。

私たちは安全が危機的状況にある認識を組合員と一致させ、自らの命と仲間の命、乗客の命を守るため、原因究明委員会の活動を通じて原因を明らかにすると共に対策を打ち出し、組織的取り組みを通じて安全を再確立させるたたかいに決起しなければならない。

会社による鉄道事業の大効率化の中で、地方ローカル線の見直しの動きも活発化している。10月1日から「地域交通法」が施行となり、事業者または自治体からの要請に基づき「再構築協議会」が設置され、地方ローカル線の見直しの動きがより具体化していく。私たちは国鉄改革のスキームに基づき安易な見直しには反対し、組合員の雇用と生活の場を守ると共に地域の発展に向けた地方ローカル線の活性化を地域連帯により創り出していく。そして、地方の社会的分断と組織的分断を許さず、地方ローカル線を守り、東北の地に組合員の働く場とJR東労組の旗と運動を守り抜いていく。

東北協議会は、あらゆる組織破壊攻撃を跳ね返し、組合員の生活と安心して働ける職場環境を創り出すためのJR東労組1万人組織の実現に向け、「一人が一人の組織拡大」をめざして、たたかいを押し進めていこうではないか！

以上、宣言する。

2023年9月26日  
東日本旅客鉄道労働組合  
東北協議会結成総会

組合員の生活と安心して働ける職場環境を創り出すため  
東北三地本の連携を強化し、JR東労組1万人組織を実現しよう！